

2026年4月

上智学院理事長 アガスティン サリ
上智学院カトリック・イエズス会センター長 酒井 陽介

2026年度(第7回)教皇フランシスコ来学記念表彰について(募集要領)

教皇フランシスコの来学(2019年11月26日)の記憶を永くとどめるため、上智学院は2019年度末に「教皇フランシスコ来学記念基金」を創設しました。この基金の目的は、教皇フランシスコのメッセージ『叡智の座の大学で学ぶ者へ』の中に込められている様々な課題への取り組みを支援することにあります。貧困や社会的弱者の課題、多文化共生社会の実現や、SDGsなどに取り組む教育・研究活動、学生・生徒活動への支援をより強化するとともに、基金の目的に適う特別奨学金制度も準備しています。

この基金による事業の一つとして、2020年度に記念表彰制度を設立しました。既に上智学院の各校では、「For Others, With Others」の教育精神のもと、こうした取り組みが活発に行われてきましたが、本制度は教皇フランシスコの来学を機に、そのメッセージを体現する活動を広く学内外に共有し、さらに促進するため表彰を行うものです。

2026年度(第7回)の表彰は、下記の要領にて公募し、選考委員会の審査を経て実施いたします。ぜひとも、様々な取り組みについて、応募くださるようお願いいたします。

記

【2026年度(第7回)教皇フランシスコ来学記念表彰応募要領】

1. 表彰対象:

上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員、卒業生が取り組んでいる、教皇フランシスコのメッセージを体現する教育研究活動、課外活動、業務実践などの諸活動。

*開始時期は問わないが、2026年1月から12月までの間に活動実績があり、具体的な成果をあげていること。

*過去に応募実績がある団体(或いは個人)の場合、同一内容での申請は不可。

教皇フランシスコのメッセージに込められた課題への取り組みに新規性があり、且つ規模の大きな事業/活動であること。

表彰事業例:

- (1) 貧困者及び社会的弱者を支援する事業
- (2) 移民及び難民を支援する事業
- (3) 多文化共生社会の実現にかかわる教育研究活動
- (4) SDGsにかかわる教育研究活動
- (5) 若者とともに歩む教職員の実践的活動
- (6) イエズス会使徒職全体の方向づけ(UAPs)にかかわる諸活動
- (7) 教皇来日來学時のメッセージを体現するための諸活動

*教皇フランシスコ来学時のメッセージ『叡智の座の大学で学ぶ者へ』

https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/PR/Message_20191126.html

*イエズス会使徒職全体の方向づけ (UAPs)

<https://dept.sophia.ac.jp/jec/news/15/>

2. 応募資格:

- (1) 自薦の場合: 上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員。学院の設置する事業会社社員、卒業生、後援会員、イエズス会員が構成員に含まれることも可。
- (2) 他薦の場合: 上智学院及び設置する各校の生徒、学生、教職員による推薦とする。推薦対象には、卒業生、後援会員など、学院及び各校と関わりのある活動を含む。

3. 応募申請書:

- (1) 自薦の場合: 様式Ⅰ「2026年度(第7回)教皇フランシスコ来学記念表彰申請書」
- (2) 他薦の場合: 様式Ⅱ「2026年度(第7回)教皇フランシスコ来学記念表彰推薦書」

*様式をダウンロードして必要事項を入力したうえでメール添付にて以下に送信してください。

*申請書提出先 catholic-co@sophia.ac.jp

4. 応募期間: 2026年12月1日(火)~2027年1月8日(金)

5. 選考及び表彰式:

選考委員会(委員長: 上智学院理事長)による審査を経て、中等教育部門(中学高等学校4校)、高等教育部門(大学、短期大学部)のそれぞれから表彰者を選考します。受賞者には、理事長から表彰状、副賞(賞金: 団体20万円、個人10万円を予定)を贈呈します。

表彰式の日程は、2027年3月初旬を予定しておりますが、改めてお知らせします。

6. 注意事項:

- (1) 取り組み内容の確認のため、事務局から連絡をすることがあります。
- (2) 表彰者については、上智学院ホームページ等で公表します。
- (3) 選考結果についてのお問合せ、異議の申し立てはお受けできません。
- (4) 受賞した活動については、各校ホームページ、発行物等で紹介予定です。

7. 問い合わせ先:

上智学院カトリック・イエズス会センター【教皇フランシスコ来学記念表彰担当】

catholic-co@sophia.ac.jp

8. 過去の受賞内容:

年度	受賞者		事業名称・活動内容
2020	大学職員	上智学院財務局管財グループ 藤本 恵夫	四谷キャンパスの消費電力の再生可能エネルギーへの電力切り替え
2020	大学卒業生	上智大学ソフィア会会祝燦燦会	海外からの留学生への支援活動
2020	大学生	Sophia Refugee Support Group	難民、並びに難民認定申請者の方々の支援する学生ボランティア活動
2020	大学生	ソフィア オリンピック パラリンピック 学生プロジェクト Go Beyond	東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に誰もが輝ける社会の実現を目指す
2020	大学生	「めぐこ」-アジアの子どもたちの自立を支える会 -	インド・フィリピンの子どもたちへの学資支援を通じて教育を受ける機会を保障
2021	中等教育部門 学生	六甲学院中学・高等学校 社会奉仕委員会	社会奉仕活動・インド募金・インド訪問
2021	中等教育部門 卒業生	広島学院中学校・高等学校卒業 一般社団法人自分ごと化プロジェクト	自分ごと化プロジェクト
2021	大学生	上智大学法学部国際関係法学科 4年 和田 早織	国連機関 Youth and United Nations Global Alliance の Ambassador 及び The Round Table of Global Seekers 設立
2022	中等教育部門 学生	栄光学園中学高等学校 愛の運動委員会	児童養護施設への学習支援、施設訪問、施設招待
2022	大学卒業生	上智大学外国語学部フランス語学科 下澤 祥子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) での難民が直面する諸問題の解決への支援活動
2022	大学生	「めぐこ」-アジアの子どもたちの自立を支える会 -	インド・フィリピンの貧困家庭の子どもたちの初等教育支援活動
2022	大学生	STP カンボジア	カンボジア・シェムリアップ州ワットチョー 中学校における英語教育支援活動
2022	大学卒業生	上智大学国際教養学部国際教養学科卒業 酒井 有理弥	アーティスティック・ウクライナ/ ARTISTIC UKRAINE
2022	大学教員	上智大学総合人間科学部看護学科 光武 智美	「いのちのおもさ展」開催
2022	大学生	Sophia Refugee Support Group	難民・亡命希望者への直接的な支援活動及び難民問題の啓発活動
2023	大学卒業生	特定非営利活動法人聖母 (NPO 法人聖母)	アフリカ、マラウイにおける学校給食支援活動等
2023	大学生 教職員	学教職協働「ピア・カフェ」プロジェクト	有志の学生・教員・職員の協働による「交流の場」を通じたピア・サポート(仲間同士の支え合い)を促進するコミュニティ活動
2024	中等教育部門 卒業生	上智福岡中学高等学校卒業 特定非営利活動法人 YNF 代表 江崎 太郎	自然災害における災害ケースマネジメント実践活動
2024	大学教員	上智大学グローバル教育センター 水谷 裕佳	沖縄の自然環境と歴史や文化の保護に寄与するアウトリーチ活動
2024	大学生	上智大学ローバース	珠洲市教育支援プロジェクト
2024	大学卒業生	上智大学国際教養学部国際教養学科卒業 ロサ・バルバラン	日本における難民の支援活動等

年度	受賞者		事業名称・活動内容
2024	大学生	上智大学フェンシング部	東京パラリンピック出場選手と学ぶ「車いすフェンシング体験会」
2024	大学卒業生	上智大学大学院神学研究科神学専攻修了 柳谷 晃子	一般社団法人 Le Mani 日常生活のなかでキリストを生きてキリストを伝える
2025	大学教員	上智大学グローバル教育センター 杉浦 未希子	里山再生による『いのちのつながり』の学び—地域との協働による自然と人間の共生の実践
2025	大学教員	上智大学外国語学部ドイツ語学科 木村護郎クリストフ	エコロジカルな靈性に向けた対話
2025	大学生	きょうだい児支援サークル「連」	きょうだい児支援サークル「連」 サマーキャンプ及びクリスマス会

以上